

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成29年度 由比地区深礎杭SA14工事

発注者：富士砂防事務所

受注者：市川土木株式会社

2015年入社：氏名 小林 祐貴

～建設業に入職したきっかけとやりがい～

私が建設業に入職したきっかけは、学生時代のインターンシップでした。その時、実際に自分の目で現場を見て、『現場監督という仕事は大変だが、自分の一言で現場が動く、自分の造ったものが地図に残るとてもやりがいのある仕事だ。』という印象を抱き、市川土木に入社しました。

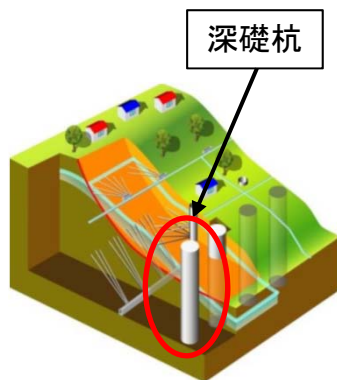
仕事は自分が考えていたより厳しく、決して楽ではありませんが、工事が無事故・無災害で完成した時は、この上ない達成感を味わうことが出来るとともに、喜びを感じます。



～工事概要～

本工事は地すべりを未然に防ぐことを目的としており、深礎杭と呼ばれるコンクリートの大きな杭を地中に構築し、杭の抵抗力で地すべりの移動を止めます。

当現場では、直径5m、深度67.4mの深礎杭を造っています。



イメージ図

～現場での役割～

私は『現場代理人』として、発注者との打ち合わせ、現場の安全管理、施工状況等の写真管理、書類の作成を日々行っています。

技術力はまだまだ足りませんが、一日でも早く、一人前の技術者になれるよう、日々精進して参ります。



現場の様子

～最後に～

建設業はあまりいいイメージがないのが現状です。そのせいか、若手技術者も少なく、人手不足が深刻です。建設業は「3K(きつい、危険、きたない)だ。」などと言われていますが、働き方改革等、職場環境も改善されてきています。現場に携わる多くの人達と協力し、工事が完成を迎えた時の感動は忘れられないものです。家族や友人にも自信を持って誇れる仕事だと思います。